平成十三年　祭事暦（七月〜十四年六月）

七月一日　月次祭（小祭）
八月一日　月次祭（小祭）
八月三・四・五日

恒例大祭

九月一日　月次祭・風祭（小祭）
九月十一日（旧七月二四日）　諏訪祭宵祭（中祭）
十月一日　月次祭（小祭）
十月二十日　大国大祭・武尊祭
十一月一日　月次祭（小祭）
十一月二三日　新嘗祭（大祭）
十二月一日　月次祭
十二月十五日　神迎祭（旧一一月一日）
十二月二三日　天長節祭
十二月三一日　師走大祓
一月一日　歳旦祭（中祭）
二月一日　月次祭（小祭）
二月十一日　紀元節祭（中祭）
二月十七日　祈年祭（大祭）
三月一日　月次祭（小祭）
四月一日　月次祭（小祭）
四月七日　例大祭宵祭（小祭）
四月八日

例大祭

四月十日　天神祭（中祭）旧二月二十五日
五月一日　月次祭（小祭）
六月一日　月次祭（小祭）
六月三十日　大祓（夏越の祓）

その他の祭典

御社頭　初宮詣・七五三詣・車祓・厄除け・安産祈願・合格祈願等家内安全祈願祭・工事安全祈願祭他

出張祭典　地鎮祭・神棚奉鎮祭・起工式・竣工式他

フォト歳時記

【上の写真は4月8日に執行の春季例大祭に奉納された硯田太々神楽。舞殿の上から餅やお菓子が投げられ、それを拾う子供たちで境内は賑わいました。】

【左の写真は、昨年八月四日の恒例大祭で西倉内交番跡地に建てられた御仮屋前での記念撮影】

【左の写真は、沼田まつりのフィナーレ榛名神社神輿還御の勇壮な宮入り】

【上の写真は家族連れで賑わう七五三の宮参り。榛名様に子どもの成長を報告するとともに今後も健やかに育つことをお願いします。】

【上の写真は、結婚式で本殿に向かう新郎新婦と親族。　この後、神前に於いて新郎新婦は永遠の愛を神様に誓います。】

【上の写真は、今年元日の初詣での人で埋まった神社境内。二十一世紀が良い年でありますようにと、午前0時前から老若男女の参拝者が続々と訪れました。また、新世紀を祝い神輿も勇壮にもまれていました。】

00 11 19

【左の写真は、昨年十一月十九、二十日に行われました氏子総代・敬神婦人会の合同研修旅行。香取・鹿島神宮を正式参拝いたしました】

＜雅楽の練習会のご案内＞

◎第1、3月曜日（原則）6：30〜
◎鳳笙・篳篥・龍笛の基本の曲、越天楽を演奏出来ることを目標にします。興味のある方大募集。

☎ 22－2655

※舞をやってみたい方もご連絡下さい。

ホームページ http：// harunanomori.com/

敬神婦人会役員

会長　清水貞子（高橋場町）
副〃　小林祐子（西原新町）
〃　林　榛江（榛名町）
書記　金子かよ子（榛名町）
幹事　阿形ハツノ（東倉内町）
〃　雨森敬子（西倉内町）
〃　関根きくよ（柳　町）
〃　富澤和子（高橋場町）
〃　桑原久子（材木町）
〃　霜垣はる（桜　町）
〃　鷲頭岩子（上原町）
〃　井上匡子（東原新町）
〃　吉野照子（西原新町）
〃　宮地ミノル（榛名町）
〃　清水ユキ（清水町）
〃　見城宮子（薄根町）
顧問　宮　司　金子浩隆
〃　氏子会長　石田清六

榛名神社　役員名簿

宮司　金子浩隆
祢宜　金子由紀子
権祢宜　金子三男
東倉内町　参与　都丸順次
西倉内町　参与　角田美之留
柳町　参与　藤井幸吉
高橋場町　参与　青木二郎
材木町　参与　松井田貞雄
桜町　参与　藤井章二
上原町　参与　遠藤章
東原新町　参与　半田郁夫
西原新町　参与　中島侑三
榛名町　参与　田村満夫
清水町　参与　高柳謙一
薄根町　参与　佐藤彰
東倉内町氏子総代　杉田大吉
〃　田村正吉
〃　深津勝治
西倉内町氏子総代　熊澤肇
〃　林　吉治
〃　小池渥
柳町氏子総代　斎藤圭司
〃　鈴木恒一郎
〃　山崎憲四郎
高橋場町氏子総代　若松房雄
〃　花山敏男
〃　今井和夫
材木町氏子総代　桑原幹
〃　星野進
〃　和田雄二
桜町氏子総代　唐澤和夫
〃　高橋菫
〃　入澤富重
上原町氏子総代　鷲頭長雄
〃　片野善平
〃　茂木克巳
東原新町氏子総代　石田清六
〃　宮川喜一
〃　千吉良直太
西原新町氏子総代　小林一郎
〃　吉野政雄
〃　山本廣一
榛名町氏子総代　金子廣久
〃　金子甚兵衛
〃　高橋弘
清水町氏子総代　梅沢義夫
〃　木内英隆
〃　戸部富雄
薄根町氏子総代　牧野芳成
〃　舟橋又一
〃　飯塚孝雄